



咽頭結膜熱、流行性角膜炎 アデノウイルスにご注意を！

平成30年6月6日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

(平成30年第22週分・5月28日～6月3日)

《インフォメーション》

●咽頭結膜熱（プール熱）・流行性角結膜炎（はやり目）

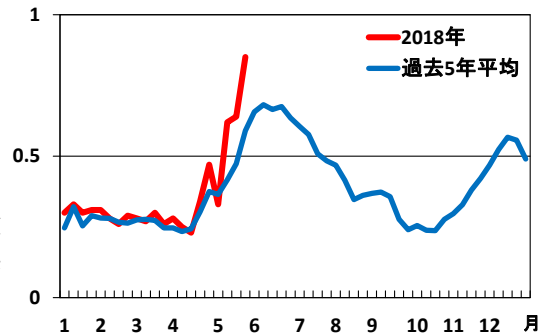
咽頭結膜熱と流行性角結膜炎は、いずれもアデノウイルスを原因とする急性のウイルス感染症です。夏期に増加する傾向がありますが、一年を通じて報告されています。今年も、全国の過去5年平均と比べると患者報告数が多く、注意が必要です(図参照)。

咽頭結膜熱は、潜伏期(5～7日)の後、発熱、咽頭炎、結膜炎などの症状が出現し、それらが3～5日間続きます。夏かぜとして流行することがあり「プール熱」とも呼ばれます。小児に多く5歳以下からの報告が約6割以上を占めています。咽頭結膜熱の流行をおこすのは、主にアデノウイルス3型ですが、4,7型など他の型による場合もみられます。

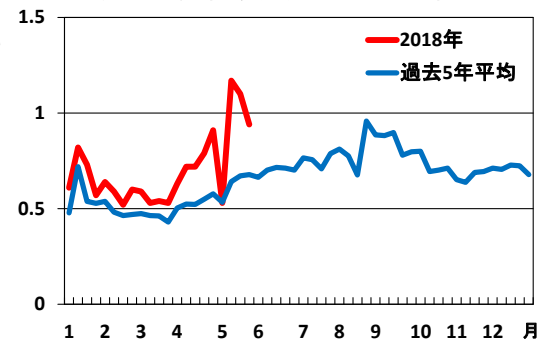
流行性角結膜炎は、潜伏期(1～2週間)の後、結膜の浮腫や充血、まぶたの腫れ、目やにや涙が出るといった症状が急に出現します。多くの場合は、2～3週間で治癒します。小児に多い疾患ですが、成人を含む幅広い年齢層にみられます。アデノウイルス8,19,37,54型などが主な原因となります。

アデノウイルスは非常に感染力が強く、患者が触れたものを介して感染する接触感染や、飛沫感染により感染します。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を防ぎましょう。

人/定点 咽頭結膜熱発生状況(全国)



人/定点 流行性角結膜炎発生状況(全国)



- 帰宅時、食事の前、トイレの後、患者の看護の後には必ず石鹸と流水で手を洗いましょう。
- タオルやハンカチなどの共用は止めましょう。
- タオルや器具等には塩素消毒や熱湯消毒が有効です。

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 2件 (①20歳代、女性 ②30歳代、女性)

四類感染症 レジオネラ症 2件 (①60歳代 ②80歳代 ①②ともに女性、肺炎型)

五類感染症 急性弛緩性麻痺 1件 (第18週診断分：10歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1位	感染性胃腸炎	6.17	6.41	↓
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.72	1.97	↓
3位	咽頭結膜熱	1.03	0.79	↑
4位	伝染性紅斑	0.62	0.24	↑
5位	突発性発しん	0.52	0.31	↑
6位	RSウイルス感染症	0.48	0.34	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第22週 平成30年5月28日～平成30年6月3日）

分類	疾患	今週報告分（第22週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核					2	2	4	7	28	9	35	83	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症											3	3	
四類感染症	E型肝炎							1					1	
	A型肝炎											3	3	
	つつが虫病											1	1	
	レジオネラ症		1			1	2	1	1	2	2	17	23	
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									1		5	6	
	急性弛緩性麻痺										1		1	
	急性脳炎							1					1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							3		4	2	3	12	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4	
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	3	3	11	21	
	水痘（入院例）							1		1		1	3	
	梅毒									1			4	5
	播種性クリプトコックス症												2	2
	百日咳												1	1
	風しん											1		1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	9		1			10	2,218	1,824	3,478	2,440	5,331	15,291	
		1.29		0.08			0.21							
	RSウイルス感染症	1		1		12	14	33	20	44	24	200	321	
		0.25		0.13		1.20	0.48							
	咽頭結膜熱	4	1	6	4	15	30	130	48	168	18	222	586	
		1.00	0.33	0.75	1.00	1.50	1.03							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	3	16	12	16	50	84	71	375	157	450	1,137	
		0.75	1.00	2.00	3.00	1.60	1.72							
	感染性胃腸炎	22	18	32	6	101	179	600	389	669	141	1,609	3,408	
		5.50	6.00	4.00	1.50	10.10	6.17							
	水痘			3		3	6	7	3	71	46	73	200	
				0.38		0.30	0.21							
	手足口病					9	9	1	8	20	10	88	127	
						0.90	0.31							
	伝染性紅斑			10	5	3	18	3	1	59	29	13	105	
				1.25	1.25	0.30	0.62							
	突発性発しん	3	2	3		7	15	32	22	88	25	69	236	
		0.75	0.67	0.38		0.70	0.52							
	ヘルパンギーナ							1		1	1		3	
	流行性耳下腺炎			3		1	4	1	5	10	2	14	32	
				0.38		0.10	0.14							
	急性出血性結膜炎				1		1					11	11	
				1.00		0.14								
流行性角結膜炎					1	1	1	11	3	1	3	19		
					0.50	0.14								
細菌性髄膜炎											3	3		
マイコプラズマ肺炎								2	4	3	7	16		
クラミジア肺炎											1	1		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		2	2	6	13		
インフルエンザによる入院患者（*）							51	55	39	150	93	388		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。